

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション

すべての産業の新たな姿をつくる。テクノロジーとビジネスを、つなぐ。産業全体・社会全体の本質的な構造転換に貢献。

AI全体市場規模
2兆1,726億円

バリューアップ型市場
2,200～3,000億円

AI導入プロジェクト
400件以上

② 中長期の経営戦略

1. ポジショニング確保

バリューアップ型AIテーマを定義し、研究開発型産業分野と社会基盤・生活者産業分野に重点。難易度高い取組で強固な顧客基盤構築。

3. 技術資産蓄積

ソリューション開発ノウハウ、ハードウェア体型基盤、AI開発フレームワークの3種類の再利用可能資産を構築。

2. ケイパビリティ構築

優秀人材獲得・育成とソリューションデザインの体系化。ソリューションデザイナー等独自人材を育成・組織化。

4. 事業ポートフォリオ拡大

2025年9月期よりCAGLAをグループ化。自動車等製造業向けシステム開発・UI/UXデザイン事業を展開。

③ 対処すべき課題

① 市場ポジショニングの強化

- ターゲット領域に合わせた解像度高いサービス・プロダクトラインアップ拡充
- 各業界代表企業の産業・社会的インパクト大のテーマで推進パートナー化

② 組織能力の強化

- イノベーション・プロフェッショナル人材の継続的採用・育成
- 再利用可能な技術的資産の蓄積と共通基盤強化

③ 国内バリューアップ市場の拡大

- 日本企業のバリューアップ予算配分が25%と低水準（米国と比較）
- デジタルトランスフォーメーション成果企業が日本2割強対米国7割程度

面接で使えるポイント

- バリューアップ型AIテーマ市場の2026年予測2,200～3,000億円規模への挑戦を通じた産業全体の構造転換支援
- 研究開発型産業分野でR2Bプロセス変革やライフサイエンス等の国際競争力維持への貢献
- 通算400件超のAI導入プロジェクト実績から培ったソリューションデザイン体系による専門人材育成

証券コード 5586

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに
2016年4月設立の情報通信サービス企業

主力事業・セグメント

- ・ CustomAIソリューション 99.6%
- ・ SystemDevelopment 0.4%

強み・特徴（公開データから）

- ・ 営業利益率10.1%の安定した収益性
- ・ 財務健康度78点と財務基盤が健全

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
19億円営業利益率
10.1%財務健康度
78点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 60.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収

968万円

情報・通信業内 34位/592社

平均年齢

36.2歳

情報・通信業内 406位/593社

平均勤続

2.4年

情報・通信業内 570位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: (株)Laboro. AI【5586】：決算情報

